

横須賀美術館美術品評価委員会開催結果について

1 美術品評価委員会とは

横須賀美術館において、取得しようとする美術品の価格及び質について評価し、適正な美術品の取得を行うため、横須賀美術館美術品評価委員会条例に基づき設置している。

2 平成 27 年度の会議開催結果

- (1) 開催日 平成 28 年 3 月 25 日 (金)
- (2) 場 所 横須賀美術館会議室ほか
- (3) 評価内容 寄贈候補作品の山中總作「少年と木馬」ほか計 52 点の評価
- (4) 評価結果 寄贈候補作品計 52 点について取得が適当であり、総評価額を 17,380,000 円とする評価をいただいた。

3 寄贈作品の活用等

美術館の所蔵作品として受け入れ、所蔵品展等において、適宜展示等に活用していく。なお、受入時の状態が展示に適さない作品については、必要に応じて、作品の修復・額装等を行い活用していく。

4 委員名簿

	氏 名	所 属 等
委員長	みずさわ つとむ 水沢 勉	神奈川県立近代美術館 館長
委 員	こいずみ じゅんいち 小泉 淳一	茨城県近代美術館 美術課長
委 員	しんばた やすひで 新畑 泰秀	石橋財団ブリヂストン美術館 学芸課長
委 員	もとえ くにお 本江 邦夫	多摩美術大学教授
委 員	やまなし えみこ 山梨 絵美子	東京文化財研究所 企画情報部部长

平成 27 年度 評価結果一覧

No.	分類	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	評価額 (円)
1	日本画	山中總	少年と木馬	1986 (昭和 61)	115.5×90.9	500,000
2	日本画	山中總	蒼の航跡	1996 (平成 8)	90.7×115.5	800,000
3	日本画	山中總	こもれ日	1998 (平成 10)	227.5×182.0	1,000,000
4	日本画	山中總	華耀	1999 (平成 11)	182.8×227.5	1,000,000
5	油彩	上條陽子	踊り	1987 (昭和 62)	61.0×73.0	1,200,000
6	油彩	上條陽子	ベッド	1987 (昭和 62)	91.0×73.0	1,200,000
7	油彩	神谷清和	SAJIMA '95 ゲール 1	1995 (平成 7)	176.5×478.0	800,000
8	油彩	高間惣七	風	1957 (昭和 32)	94.2×119.5	1,500,000
9	油彩	高間惣七	灯台の見える庭	1959 (昭和 34)	53.4×73.0	1,000,000
10	油彩	高間惣七	花園	1960 (昭和 35)	60.5×91.0	1,200,000
11	油彩	高間惣七	ひなげし咲く庭	1969 (昭和 44)	60.8×72.5	1,200,000
12	版画	磯見輝夫	名なし花	1978 (昭和 53)	45.0×24.0	100,000
13	版画	磯見輝夫	蝶	1980 (昭和 55)	79.0×141.5	180,000
14	版画	磯見輝夫	流れる水	1983 (昭和 58)	74.5×141.0	180,000
15	版画	磯見輝夫	野辺	1983 (昭和 58)	70.0×119.0	150,000
16	版画	磯見輝夫	エヴァー-I	1985 (昭和 60)	59.5×118.5	150,000
17	版画	磯見輝夫	光の中で	1987 (昭和 62)	74.0×118.0	150,000
18	版画	磯見輝夫	土を抱く	1989 (平成元)	75.5×117.5	150,000
19	版画	磯見輝夫	東北紀行・空を駆ける	1990 (平成 2)	75.0×120.0	150,000
20	版画	磯見輝夫	森のひと	1996 (平成 8)	50.0×71.3	100,000
21	版画	磯見輝夫	八木重吉詩”花をかついで歌をうたわう”より「ある時」	1999 (平成 11)	33.6×24.7	60,000
22	版画	磯見輝夫	八木重吉詩”貧しき信徒”より「母の瞳」	1999 (平成 11)	34.1×24.8	60,000
23	版画	磯見輝夫	八木重吉詩”母の瞳”より「花」	1999 (平成 11)	33.8×25.0	60,000
24	版画	磯見輝夫	魚の見た日	2003 (平成 15)	60.0×96.0	120,000
25	版画	磯見輝夫	渚・初めに・・・	2004 (平成 16)	59.0×93.5	120,000
26	版画	磯見輝夫	砂のかたち	2005 (平成 17)	60.0×96.0	120,000
27	版画	磯見輝夫	The road-1	2006 (平成 18)	70.0×120.0	150,000
28	版画	磯見輝夫	海辺の青い小屋	2010 (平成 22)	60.0×96.0	120,000

No.	分類	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	評価額 (円)
29	版画	磯見輝夫	海にいたる	2011 (平成 23)	50.0×72.0	100,000
30	版画	磯見輝夫	器	2014 (平成 26)	57.0×45.5	80,000
31	版画	磯見輝夫	或る日・水面	2014 (平成 26)	49.8×70.4	100,000
32	版画	磯見輝夫	選ばれた場所	2014 (平成 26)	59.8×95.5	120,000
33	版画	磯見輝夫	溢れる	2015 (平成 27)	49.9×70.5	100,000
34	版画	磯見輝夫	流れる	2015 (平成 27)	49.5×70.8	100,000
35	版画	磯見輝夫	林の奥に	2015 (平成 27)	69.3×118.5	150,000
36	版画	五島三子男	八丈島短波跡にて	1973 (昭和 48)	40.8×55.0 / 50.5×65.0	50,000
37	版画	五島三子男	Untitled (淵)	1973 (昭和 48)	40.7×55.5 / 50.3×65.0	50,000
38	版画	五島三子男	Vanishing scenery - White	1979 (昭和 54)	56.7×61.7	80,000
39	版画	五島三子男	Vanishing scenery 12-1	1984 (昭和 59)	55.0×67.0 / 65.0×75.8	100,000
40	版画	五島三子男	Landscape vegetation - 妄想する切り株	1985 (昭和 60)	55.5×67.2 / 70.1×77.0	100,000
41	版画	五島三子男	Landscape in the weed. B	1985 (昭和 60)	58.0×71.9	100,000
42	版画	五島三子男	DialogueIX	1988 (昭和 63)	49.0×58.5 / 65.4×74.5	100,000
43	版画	五島三子男	Vanishing scenery I-9	1987 (昭和 62) ~2012 (平成 24)	39.0×58.4 / 56.2×76.6	150,000
44	版画	五島三子男	Vanishing scenery I-12	1987 (昭和 62) ~2012 (平成 24)	39.0×58.3 / 56.3×76.5	150,000
45	版画	五島三子男	Grass dimension I-5	2012 (平成 24)	65.0×105.0	180,000
46	版画	五島三子男	Grass dimension VII-9	2013 (平成 25)	65.0×105.0	180,000
47	版画	五島三子男	Grass dimension VI-9	2013 (平成 25)	90.2×90.5	180,000
48	素描	矢崎千代二	柳川の夕景	制作年不詳	23.7×31.7	200,000
49	素描	矢崎千代二	阿蘇 第一噴火口	制作年不詳	33.0×24.2	200,000
50	素描	矢崎千代二	阿蘇山	制作年不詳	33.0×24.4	200,000
51	素描	矢崎千代二	阿蘇の噴煙	制作年不詳	33.1×24.0	200,000
52	素描	矢崎千代二	ダーバン (アフリカ)	1938 (昭和 13)	23.8×33.2	200,000

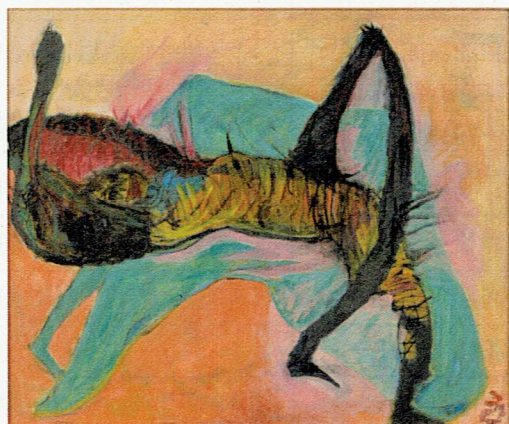
平成 27 年度 主要寄贈作品紹介



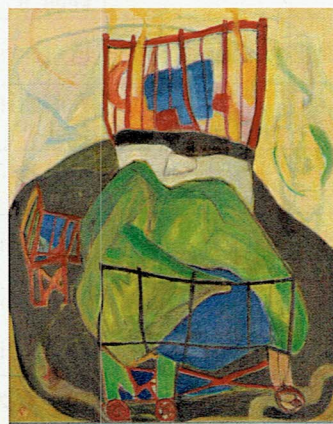
やまなかそう
山中總 1944 (昭和 19) ~2001 (平成 13)

三重県に生まれ、横須賀で育つ。1971 (昭和 46) 年東京藝術大学日本画科を卒業。同年、各科の主席に与えられる安宅賞を受賞。1973 年同大学大学院日本画科修了。1974 年院展出品。1986~2002 年創画会に参加。1988 年十美会日本画展優秀賞受賞、東京セントラル美術館日本画大賞展出品。1989 (平成元) 年十美会日本画展河北賞受賞。1991 年日本画俊英作家展出品。1994 年上野の森美術館大賞展において春季展賞受賞。2001 年上野の森美術館大賞展にて賞候補。

No. 3 こもれ日



No. 5 踊り



No. 6 ベッド

かみじょうようこ
上 條 陽 子 1937 (昭和 12) ~

神奈川県に生まれる。1954 (昭和 29) 年画家を志し清泉女学院を中退。1960 年第 14 回女流画家協会展に出品。以後現在まで出品を続ける。1978 年《玄黄・兆 (きざし)》で第 21 回安井賞を受賞。1981~82 年に文化庁派遣芸術家在外研究員として滞欧。1986 年聴神経鞘腫を発病し、開頭手術を受ける。1999 (平成 11) 年「東京からの七天使」展に参加 (エルサレム、ガザ、ラフマを巡回)。2001 年パレスチナ人難民キャンプで子どもに絵画指導を行う。2003 年より多摩美術大学客員教授。

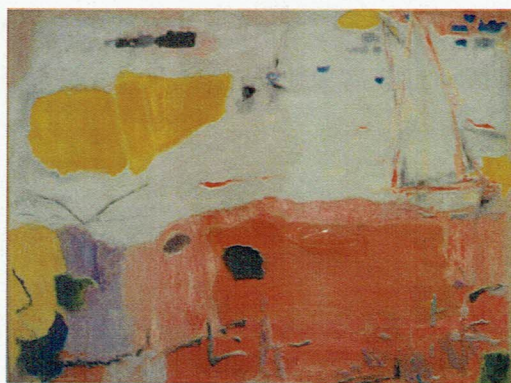


No. 7 SAJIMA '95 ゲール 1

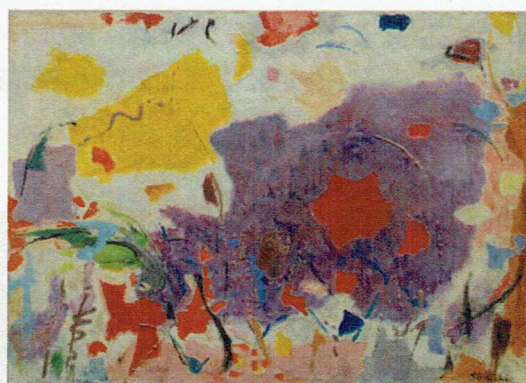
かみやまきよかず
神谷清和

1937 (昭和 12) ~ 2013 (平成 25)

東京に生まれる。戦時中葉山に疎開し、戦後横浜市六浦に住む。高間惣七に師事し、1953 (昭和 28) 年より旺玄会展に出品するが 1956 年に同会を退会。1960 年多摩美術大学絵画科を卒業。1961-64 年デザイン事務所でテキスタイル制作にたずさわわり、1965 年からフリーのデザイナーとなる。1963 年横須賀に転居。個展ほかグループ展で作品を発表。



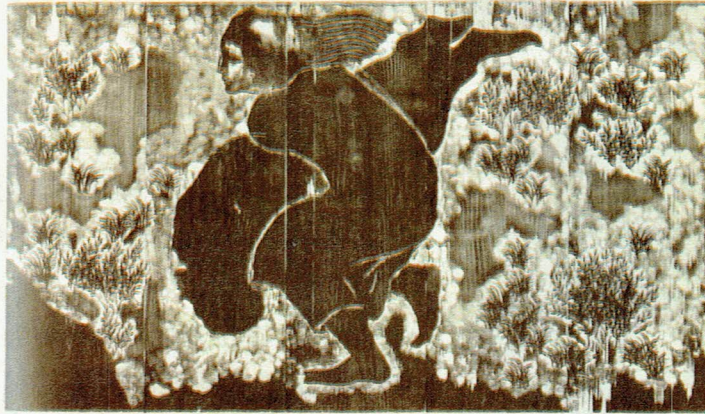
No. 8 凧



No. 10 花園

たかまそうしち
高間惣七 1889 (明治 22) ~ 1974 (昭和 49)

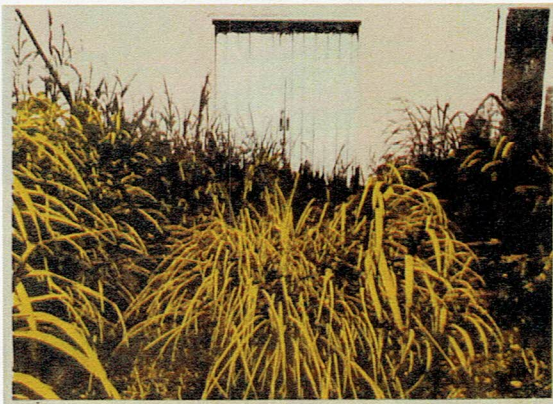
東京に生まれる。白馬会洋画研究所に学ぶ。1916 (大正 5) 年東京美術学校西洋画科選科を卒業。在学中の 1913 年第 7 回文展に初入選。1918 年第 12 回文展に出品した《夏草》で特選を得る。翌々年から三年連続して特選。1924 年牧野虎雄らと槐樹社を結成。1931 (昭和 6) 年槐樹社を解散。翌年熊岡美彦らと東光会を創立するがまもなく退会。1939 年主線美術協会を創立。その間官展に出品し、戦後は日展にも出品するが 1955 年以降は独立美術協会に主要な作品を発表した。1959 年第 5 回日本国際美術展で優秀賞受賞。1964 年にはマイアミ近代美術館で個展を開催。



No. 15 野辺

磯見輝夫 1941 (昭和 16) ~

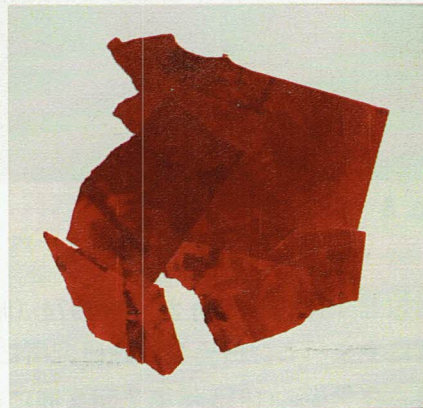
鎌倉市に生まれる。1959 (昭和 34) 年県立横須賀高校を卒業。1966 年東京藝術大学油画科卒業。油彩を中心に水彩やアクリルなど幅広い技法で制作していたが、1971 年同大学大学院版画科に再入学し、本格的に木版を始めた。1973 年同大学院版画専攻修了。1979 年第 47 回日本版画協会展で協会賞受賞。1978 年頃から杉板を版本として用い、横に並べ継いで大型版画の制作を始めた。展覧会への出品多数。2007~2013 年愛知県立芸術大学学長をつとめた。



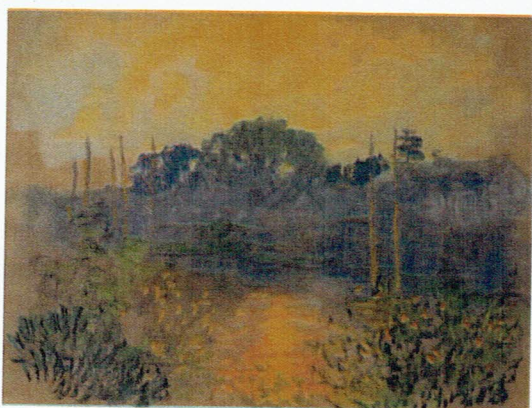
No. 36 八丈島短波跡にて

五島三子男 1949 (昭和 24) ~

横須賀市に生まれる。1972 (昭和 47) 年に日本大学芸術学部美術学科を卒業後、版画制作をはじめ。1989 (平成元) 年 和歌山版画ビエンナーレ (和歌山県立近代美術館)、横浜 - 光州現代美術交流展 (横浜市民ギャラリー、仁済美術館)、1994 年 クラコウ国際版画トリエンナーレ、1998 年 第 1 回神奈川国際版画トリエンナーレ (神奈川県民ホールギャラリー)、2006 年アート@つちざわ (土澤) 街かど美術館 (土澤商店街、萬鉄五郎美術館) などに出品。一貫して自然と人間の関係をテーマとし、版画の技法を生かしながらその枠にとどまらない立体的な表現、写真、インスタレーションなど、幅広い表現に取り組んでいる。



No. 47 Grass dimension VI-9



No. 48 柳川の夕景



No. 52 ダーバン (アフリカ)

矢崎千代二 やざきちよじ 1872 (明治 5) ~ 1947 (昭和 22)

横須賀村汐入に生まれる。1887 (明治 20) 年曾山幸彦の画塾に入門し、洋画の手ほどきを受ける。1894 年黒田清輝、久米桂一郎の天真道場に入る。1897 年東京美術学校西洋画科専科に入学、黒田清輝に師事し、白馬会にも出品を重ねる。1905 年渡米し、セントルイス万国博覧会事務局に勤める。この後アメリカからヨーロッパへ渡り、1909 年に帰国。生涯、欧米をはじめアジア、アフリカを巡遊する。1927 (昭和 2) 年『矢崎千代二作パステル歴遊画集』を刊行、同年滞外パステル画展覧会を開催。1929 年日本パステル画会を創設し、日本におけるパステル画の普及につとめる。光風会や帝展、文展などで作品を発表。

